

2022年3月吉日

近代英語協会会員の皆様へ

近代英語協会研究叢書第1巻の執筆要項について

すでにご案内のとおり、協会内の研究を振興し、特に若手研究者に執筆の機会を提供すること、協会の出版活動を広く宣伝し新しい会員獲得を目指すことを主眼に、将来にわたって近代英語協会研究叢書を刊行することが、昨夏の理事会と総会で決定されました。

そして、このほど、この企画の第1巻の編集長 今林修先生（広島大学）のご尽力により執筆要項が作成されましたので、ここにご送付申し上げている次第です。会員の皆様には、下記の執筆要項に沿って、奮って投稿されますようご案内申し上げます。

記

編者

今林修 小倉美知子 中尾佳行

書名

Linguistic and Stylistic Approaches to Speech, Thought and Writing in English: Diachronic and Synchronic [MEA Studies in English Philology and Linguistics 1] (Provisional)

出版社

Peter Lang (予定)

趣旨

英語の発話、思考、書法に関連する研究を中心に、英語の通時的あるいは共時的研究に資する内容であり、確かな研究テーマを設定し、明確な根拠に立脚した独創的論考であること。また、未発表の論文であること。

執筆要領

- ・用紙：A4判を使用し、上 35mm、下左右 30mm の余白をお取りください。（なおこれは MS Word の初期設定値と同じです。）
- ・フォント：Times New Roman 12 ポイント。
- ・ページ設定：40 字(半角英数 80 字) × 32 行。
- ・総ページ数：Abstract、(樹形) 図、表、グラフ、脚注等、すべてを含め 18 ページ以内と

します。執筆希望者が多い場合は、枚数が減る可能性があります。

- ・執筆料：学生会員 10,000 円 学生会員以外 25,000 円。総 540 ページ（18 ページ x 30 人）を 100 万円で引き受けてもらえた場合の財源として、学生会員 10,000 円 x 10 人 + 一般会員 25,000 円 x 20 人 + 協会補助 400,000 円を見積もっていますが、原稿の集まり具合や出版社の諸経費上昇によって多少変動することがあります。
- ・印税：なし
- ・書式：“Peter Lang Style Guidelines”と「書式見本」（『近代英語研究』の「書式見本」を“Peter Lang Style Guidelines”に合わせたもの）に従ってください。なお、“Peter Lang Style Guidelines”と「書式見本」については、協会ホームページにアップロードされておりますので、そちらをご参照ください。また、交渉次第では、出版社が変更される可能性がありますことをご了解ください。
- ・Abstract：150 語程度の Abstract を冒頭に付けてください。
- ・注：脚注とします。
- ・英語母語話者のチェックを必ず受けてください。
- ・いただいた原稿は、編者のほうで簡単な審査をさせていただきます。また、掲載の可否について、令和 4 年 12 月ごろメールにてお知らせいたします。なお、掲載可となった論考に、全体の統一のために編者が手を入れることをご了解ください。

投稿要領

- ・MS Word 版(.docx)とその PDF 版(.pdf)をメール添付にてご送付ください。ファイル名は両方とも氏名にしてください。(例：近代英子)
- ・送付先：mea01.2022@gmail.com
- ・メールの件名：近代英語協会研究叢書第 1 巻（氏名）
- ・提出期限：2022 年 10 月 31 日（月）
- ・刊行予定：2023 年 3 月 31 日（金）

執筆希望調査のお願い

- ・執筆を希望される方は、4 月 15 日（金）までに事務局長（m-maeda@dpc.agu.ac.jp）宛にご連絡ください。
- ・メールの件名：「近代英語協会研究叢書第 1 巻執筆希望（氏名）」でお願いします。

近代英語協会事務局長
前田 満